

立教大学主催 トホーフト教授 講演会

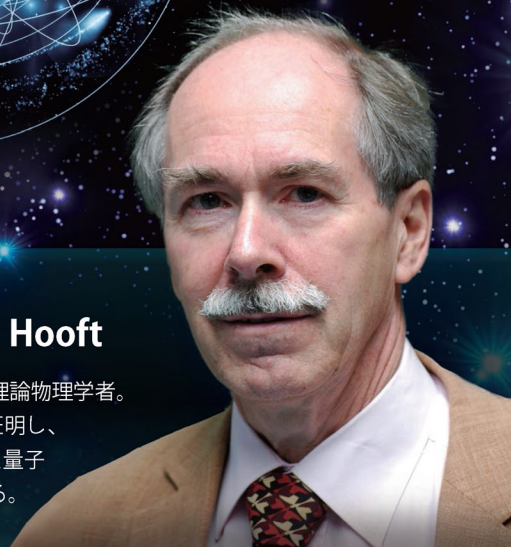
ヒッグス粒子と 素粒子の世界

オランダの著名な理論物理学者である't Hooft教授(1999年ノーベル物理学賞受賞)が、
本年4月に日本に滞在されます。この機会に't Hooft教授を立教大学にお招きして
教員・学生との交流を図り、現代物理学に関する公開講演会を開催します。



G.トホーフト教授 Gerard 't Hooft

トホーフト教授(1946年7月5日生)は、オランダ・ユトレヒト大学の理論物理学者。
1970年代初頭にヤン・ミルズゲージ理論の数学的な整合性を証明し、
ゲージ理論による素粒子の標準理論建設の基礎を築いた。また量子
重力理論におけるホログラフィーの提唱者としてもよく知られている。



2015年4月14日(火) 16:40~18:30
池袋キャンパス 太刀川記念館多目的ホール

参加人数を確認するため参加希望者の登録を行います。

希望者は立教大学のホームページから <https://sites.google.com/a/rikkyo.ac.jp/thoof/> にお申し込みください。

●主催:立教大学 ●対象:本学学生、院生、教職員、一般 ●言語:英語

問合せ先 江口 徹 理学研究科 特任教授

メールアドレス: thoof-lecture@rikkyo.ac.jp



立教大学